

# 日経産業新聞

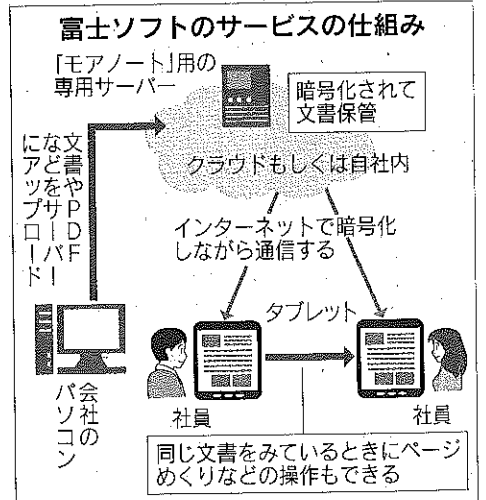
2012年(平成24年) 11月6日 火曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

www.nikkei.com/ ■日経産業新聞online http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/ ■購読のお申し込み ☎0120-21-4946 http://www.nikkei.com/

人向けサービスを12月から始める。アプリ(応用ソフト)をインストールするだけで利用でき、会社支給の端末だけでなく社員が持つそれぞれの端末で使えるのが特徴。端末を紛失しても社内情報が流出しないよう、データには暗号化を施し、セキュリティ性を高めた。2015年までに1000社導入を目指す。

## タブレット、安全に



## 原子レベルで品質評価

### 新潟大 超音波デバイス活用

新潟大学は半導体に使ったデバイスを大量に作製。管理を数値化することからシリコンウエハーの品質を左右する原子レベルの速度を調べることで、上に役立てる。

新潟大学大学院の後藤輝孝教授が中心となり、半導体製造技術開発のフィードバックを担う。作業者の経験に頼る品質管理を数値化することから、シリコンウエハーの品質を左右する原子レベルの速度を調べることで、上に役立てる。

## シリコンウエハー

## 片手にクラウド

客単価は同1.3倍になった。その日、その時間、その場所にいる、あなたの手のはずき焼きにしよう」と翌日のお買い得情報をスマートフォンに届ける。スマートフォンの普及と大量のデータを処理可能なクラウドの進化によって「O2O(オンライン・ツー・オフライン)」というマーケティング手法が広がり始めた。

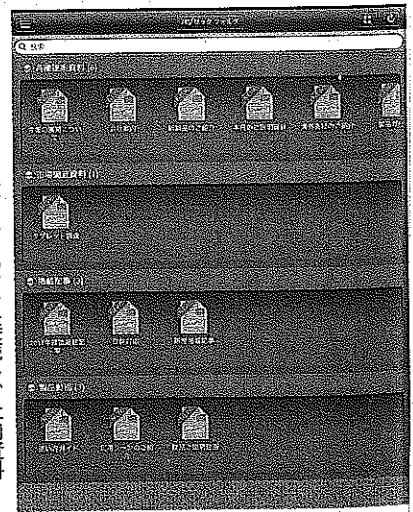
### 献立作りの一役

大手スーパーのイトーヨーカ堂は9月から電子チラシを使った販促サービスを始めた。印刷物の電子化を促し、割引情報や限定商品

## 「O2O」の取り組みで買い物意欲に訴える



タブレットから専用サーバーに接続し、社内資料などを閲覧できる。



## 感知器数 能美防災 火災

能美防災は1つの回線を従来より多くの感知器の数で接続できる感知器の数を増やして、火災の発生を早く検知し、被害を最小限に抑えることを目指している。

感知器数は、従来の100個から200個に増やしている。感知器が増えることで、火災の発生を早く検知し、被害を最小限に抑えることができる。

## 前夜配信 販売待ち通知

購入 コン は数十のサ 粧品な スマホ